

環境への取り組み

当社は、環境に優しい企業を目指して、総合設備エンジニアリング企業としての技術力を活かし、お客さま設備の環境負荷低減へのニーズに応えること、ならびに自らの事業活動に伴う環境負荷低減に努めることが社会的な責任であると考え活動しています。

この活動にあたり、環境方針・環境目標を設定し、全社をあげてその達成を目指しています。

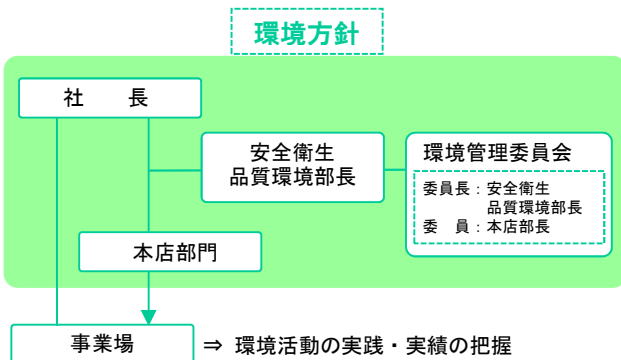
環境マネジメント

当社では、経営の全体的な計画や実績の集約・統括の役割を担う本店部門で ISO14001 に適合した環境マネジメントにもとづいて活動を計画し、その施策を支社・営業所に展開することにより全店の環境活動を実践しています。

環境マネジメントシステム運用の体系

環境マネジメントシステムに関する重要事項は、本店の部門長を委員とする環境管理委員会で審議・検討を行っています。

安全衛生品質環境部長は、環境マネジメントシステムの運用状況を社長に定期的に報告し、改善指示を受けることによりPDCAサイクルを動かしています。



ISO 14001 審査登録状況 (2020年10月1日現在)

規格: ISO 14001:2015
登録日: 2002年7月19日
対象範囲: 株式会社中電工 本店
活動範囲: 総合設備エンジニアリング企業における本店業務(設計・技術開発・施工支援)
登録番号: JQA-EM2506

中国電力グループ大での環境活動

中国電力(株)を中心とする中国電力グループでは、「中国電力グループ環境行動計画」を定め、活動しています。

「中国電力グループ環境管理要綱」にもとづく活動の実践、「中国電力グループ環境委員会」への参加などを通じて、グループ大の活動を推進しています。

環境方針

[基本理念]

中電工は、地球環境に配慮し、自然との共生を経営の重要課題の一つととらえ、総合設備エンジニアリング企業としての技術力を駆使して、豊かな明日の創造と健康で快適な環境づくりへ貢献する。

[基本方針]

1. 環境マネジメントシステムを構築・運用し、継続的改善および環境汚染の予防に努める。
2. 環境保全のための目的・目標を設定して実施し、定期的に見直す。
3. 省エネルギー・省資源・廃棄物の削減・リサイクルの推進に積極的に取り組み、環境負荷の低減に努める。
4. 環境関連技術の開発を推進するとともに、環境影響の少ない製品および工事の提案を積極的に行う。
5. 環境関連法規制および協定等を遵守した活動を行う。
6. 緊急事態の発生を予防するとともに、発生した場合に備えて訓練を実施する。
7. 従業員の教育・研修を通じて、環境保全の意識向上に努める。

環境に配慮した活動

ZEB に対応した岡山統括支社新社屋

当社は省エネルギー法の特定事業者指定されており、法に基づく中長期計画書の策定やエネルギー使用状況等の定期報告を通じて、事業場の建替えや設備更新を計画的に実施することにより、事業場の省エネルギーを進めています。

2019年4月に竣工した岡山統括支社の新社屋は ZEB※に対応したもので、外皮断熱や自然通風、自然採光を利用するパッシブ手法と空調、照明などの高性能機器を導入するアクティブ手法を組み合わせ「ZEB Ready」の基準（省エネ率 50%以上）を達成しました。

ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）について

ZEBとは、快適な室内環境を保ちながら、高断熱化・日射遮蔽、自然エネルギー利用、高効率設備により、できる限り省エネルギーに努め、太陽光発電などによりエネルギーを創ることで、年間に消費する建築物のエネルギー量が大幅に削減されている建物のことです。

- ・ ZEB ……100%以上の省エネ率を達成したもの
- ・ Nearly ZEB ……75%以上の省エネ率を達成したもの
- ・ ZEB Ready ……50%以上の省エネ率を達成したもの



ZEB Ready を実現した岡山統括支社新社屋

環境に配慮した設備の提案

当社は更新時期を迎えた設備のリニューアルの機会に合わせて、お客さまが以前より快適な生活・事業環境となり、また省エネ性能に優れ、ランニングコストの低減が図れることを目指した提案活動を推進しています。

政府がエネルギー基本計画において普及を目指している ZEB について、当社は、「ZEB Ready」を実現した岡山統括支社新社屋で ZEB リーディング・オーナーとして登録されました。さらに、新社屋のプランニング実績を基に、ZEB プランナーとしても登録されました。

これを生かし、積極的に ZEB の推進に努めていきます。



ZEB リーディング・
オーナー・マーク



ZEB プランナー・
マーク

再生可能エネルギー関連設備として風力発電システムや施工実績の豊富な太陽光発電システムの提案も進めています。



出雲クリーン発電太陽光発電所

エコオフィス・エコドライブ

日常的な照明・空調・OA機器や自動車使用については、エコオフィス・エコドライブを実践し、省エネルギーに努めています。

また、事務用品の購入の際にグリーン購入法などの基準に適合した商品を選択するグリーン購入を推進しています。

これらの活動を推進するために、環境活動をまとめた「環境読本」やパフォーマンスに関するデータなどの啓発情報を適宜、展開しています。



環境読本

高所作業車の排気ガス低減

高所作業を伴う配電線作業には高所作業車を使用しますが、高所作業用のバケットを作動するために従来はエンジンをアイドリング状態にしておく必要があり、夜間騒音・排気ガス・エネルギーの無駄が生じていました。

そこで高所作業車を大容量バッテリーで作動させることにより高所作業中のアイドリング停止を可能とした車両の導入を進め、配電線作業における環境負荷を低減しています。

また、配電線作業に伴う交通規制エリアの縮小および運行車両に係る燃料使用量削減のため、作業用車両の積載量を増やし、車両台数を削減する取り組みも行っています。

地域環境保全活動（地域交流・社会貢献）

75周年記念行事

当社は2019年10月1日に創立75周年を迎え、10月1日から11月20日までの2か月間、創立75周年記念行事を実施しました。

期間中は、お客さま・株主の皆さま・地域の皆さまの長きにわたるご愛顧に対し、感謝の意をお伝えすることなどを目的に、全店でさまざまな活動を行いました。

75周年記念行事(2019年度)



児童福祉施設構内の樹木伐採
(岡山統括支社管内5事業場合同)



一の坂川兩岸の清掃(山口統括支社)



障害者支援施設の外灯の清掃
(笠岡営業所・井笠配電センター合同)

環境月間

毎年6月に実施される「環境月間」にあわせて、地域社会に少しでも役立つような活動を実施するとともに、地域で実施される環境保全活動に積極的に参加しています。

また、本月間を省エネ・省資源活動の啓発や整理・整頓・清掃の機会と捉えて、朝礼での啓発や社内清掃活動等を積極的に実施しています。

2019年度 環境月間



ごみゼロクリーンウォーク(本店・広島統括支社 ほか)



美栄橋公園清掃活動(沖縄支社)



海岸清掃活動(長門営業所)

環境目標・環境パフォーマンス

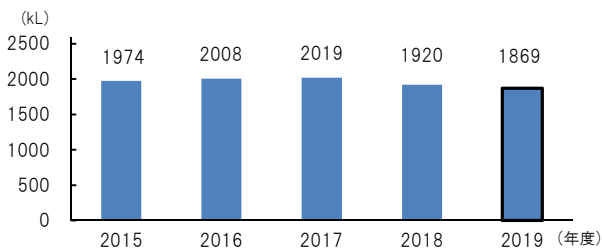
環境目標と実績（2019年度実績）

項目	2019年度目標	実績の概要
リニューアル工事に係る省エネルギー提案	提案件数 700件以上(500万円以上)	◆提案件数 706件
産業廃棄物の再資源化率向上	再資源化率 75%以上	◆再資源化率 74%
エネルギーの使用の合理化(自社設備に係る省エネ)	原油換算エネルギー使用量 1%以上削減(2015~2019年度の年平均削減率)	◆年平均1.4%削減
車両燃費の向上(ガソリン車・ディーゼル車合算値)	燃費 11.6km/L以上(高所作業車を除く)	◆燃費 11.8km/L
グリーン購入	事務用品のグリーン購入率 75%以上(注文件数比率)	◆グリーン購入率 74%
地域環境保全活動の実施	実施・参加件数 100件以上	◆実施・参加件数 103件

主要な環境パフォーマンスの推移

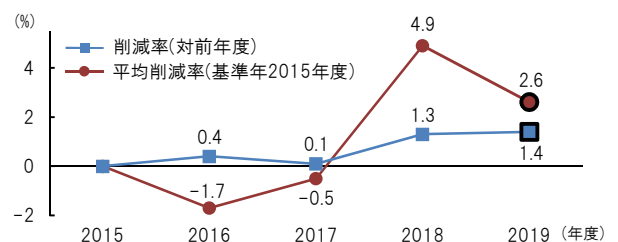
原油換算エネルギー使用量(事務所等)

1869 kL



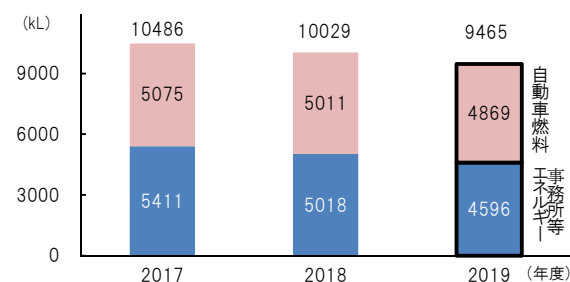
原油換算エネルギー削減率

5年間の平均削減率 1.4% 対前年度削減率 2.6%



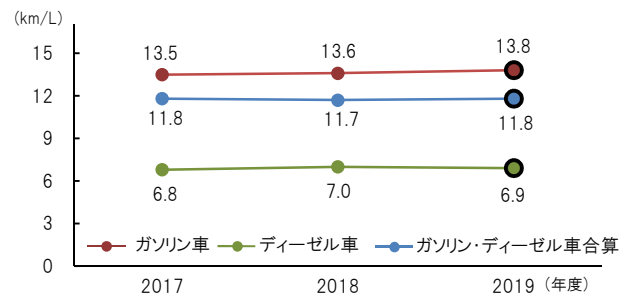
二酸化炭素排出量

9465 t-CO₂



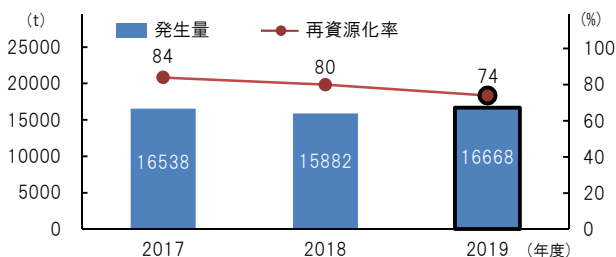
車両燃費(高所作業車を除く)

燃費(ガソリン車・ディーゼル車合算) 11.8 km/L



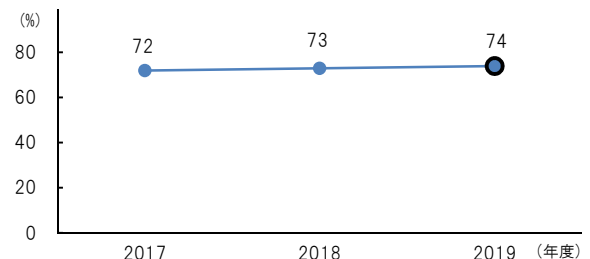
産業廃棄物

発生量 16668 t 再資源化率 74%



グリーン購入(事務用品)

グリーン購入率 74%



■備考 原油換算エネルギー使用量は、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に規定される特定事業者に係るエネルギー・燃料を対象に算定。
二酸化炭素排出量は、上記の原油換算エネルギー使用量および自動車で使用する燃料を対象に算定(電気使用に係る二酸化炭素の換算は調整後排出係数を使用)。